

## 関西日中関係学会 秋季研究例会・懇親会を開催



関西日中関係学会は10月22日（土）午後2時より、大阪市北区にある「龍谷大学大阪梅田キャンパス」において、2016年度秋季研究例会が行われ、会員ら約30名が参加した。

まず、青木俊一郎会長が参加者に対して日頃からの会の運営への協力に謝意を述べた。

講演会では初めに龍谷大学の辻田素子経済学部教授による「温州のCommunity Capitalについて」、続いてERINA（公益財団法人 環日本海経済研究所）の三村光弘調査研究部主任研究員による「朝鮮労働党第7回大会後の北朝鮮の経済、社会の現状」についての講演会が行われ、参加者たちは興味深く聞き入っており、講演終了後の質疑応答時には多くの参加者から質問が寄せられていた。

午後5時30分に後援会は終了し、午後6時より大阪駅前第一ビル12階の中華料理神仙閣において懇親会が行われた。初めに青木会長が挨拶を述べ、伊藤正一次期会長による乾杯の発声で宴が始まった。懇親会参加者同士それぞれの分野についてなど話し合われ、有意義なひと時を過ごし、午後7時30分頃閉会となった。